

プロセス4 夢を実現させる(創る)

項目	事業名	担当課	(1)令和元年度実施状況				(2)目標指標の状況				
			取組内容	協働の相手		事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値(H27)	目標値(R3)	現状値(R1)	今後の方向性
				①~⑦	団体名						
(1)市事業への「協働」の導入推進	協働事業の試行	市民協働推進課	未実施	-	-	D	担当課ごとに実施している団体との協働について、調査研究したうえで、検討したい。	事業の施行 未実施	事業の施行 実施	事業の施行 未実施	本調査の、各課事業での「今後の方向性」記載内容から、検討をすすめたい。
	文書配布業務の効率化	市民協働推進課	シルバー人材センターから人材の情報提供を受け、臨時職員を雇用し配送業務を行っている。	②	シルバー人材センター	C	速やかに人材の情報提供を受けることができ、円滑に業務を遂行することができた。	評価の実施 実施	評価の実施 充実	評価の実施 実施	今後の行政文書配布の方法、あり方について検討を行っていく。
	男女共同参画フォーラム	市民協働推進課	日時:令和元年12月1日(日) 場所:三島ホール 内容:男女共同参画推進事業者表彰・講演会 男女共同参画を推進する団体からの推薦により、実行委員会を組織して企画・運営等を協働により行った。	②	男女共同参画フォーラム実行委員会	B	実行委員会との協働により、講演等を企画・運営することができた。	フォーラムの実施 実施	フォーラムの実施 充実	フォーラムの実施 実施	来場者の8割以上が60歳以上だったので、若い世代にも来てもらえるように、フォーラムの開催方法や対象、内容等について検討していく。
	男女共同参画セミナー	市民協働推進課	高校生出前講座(デートDV) 内容:デートDVに関するDVDを鑑賞後、各クラスでグループワークを行った。 ①那須拓陽高校 日時:令和元年10月21日(月) ②黒磯南高校 日時:令和元年11月1日(金) 栃木県男女共同参画地域推進員の協力により高校に出向き、グループワークのファシリテーションを行った。	②	栃木県男女共同参画地域推進員	B	協働により円滑なセミナー運営をすることができた。	セミナーの実施 実施	セミナーの実施 充実	セミナーの実施 実施	栃木県男女共同参画地域推進員と協働で行うため、定期的に研修を実施する等、ファシリテーションの知識を深め、より効果的な事業を行う。
	市希少野生動植物の保護に関する条例の運用	環境課	・保全協定区について、監視員による監視活動を実施した。 ・動植物調査研究会との協働により、生息地等保全協定の候補地の調査及び選定を行った。 ・候補地のうち2か所の地権者と保全協定を締結した。	①⑦	・那須塩原市希少野生動植物種保護監視員 ・那須塩原市動植物調査研究会	B	生息地等保全協定により地域に根付いた保護活動が実施できた。	保全協定区域 15区	保全協定区域 25区	保全協定区域 17区	・目標値に向け、引き続き事業を遂行する(1か所の協定締結に向けて協議中、新たな協定候補地を選定中)。 ・市内における野生動植物の実態調査を継続し、確認種目録の作成、レッドリストやレッドデータブックの改訂を行う。
	廃棄物減量等推進員(ごみ減量推進員)制度の運用	廃棄物対策課	・第1回研修(役割及び市の現状等を説明) 日時:平成31年4月25日(木) ・ごみ減量推進員初任者向け研修会(那須塩原クリーンセンター見学) 日時:令和元年6月6日(木) ・第2回研修会 日時:令和元年10月16日(水)(黒磯)、令和元年10月17日(木)(西那須野、塩原)	①	廃棄物減量等推進員(ごみ減量推進員)	A	ごみ減量推進員が地域で行う活動を支援し、知見の増加や疑問の解決に寄与した。	活動支援 実施	活動支援 充実	活動支援 充実	研修を継続することで、ごみ減量推進員の知見の向上、平均化を図る。
	民生委員・児童委員活動支援	社会福祉課	那須塩原市民生委員児童委員協議会連合会への補助金の交付及び事務局の運営	②	那須塩原市民生委員児童委員協議会連合会	B	補助金の交付及び事務局の運営を滞りなく行えた。	補助金の交付 交付	補助金の交付 充実	補助金の交付 交付	連合会の活動が増える場合には、活動の資金(補助金)の充実を図っていく。
	ふれあいのまちづくり推進事業	社会福祉課	心配ごと相談、無料法律相談の実施	①②③⑦	市民、社会福祉協議会、弁護士、民生委員	B	予定どおりに事業を実施することができた。	事業の実施 実施	事業の実施 充実	事業の実施 実施	心配ごと相談及び無料法律相談の需要に合わせて、相談回数の増減を検討していく。 なお、新たな相談場所として、令和2年度から東那須野公民館を追加することとし、その準備を行った。
	生活困窮者自立支援事業	社会福祉課	自立相談支援事業業務委託 (生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、生活困窮者に対する支援の種類及び内容等を記載した計画の作成、各種施策・福祉サービス等の利用のあっせん等様々な支援を一体的かつ計画的に行い、生活困窮者の自立の促進を図る。	③	社会福祉法人 那須塩原市社会福祉協議会	B	対象者が就労につながるアセスメント・プランを作成し、確実に就労支援をすることができた。	困窮状態からの脱却率 -	困窮状態からの脱却率 15%	困窮状態からの脱却率 13%	生活困窮者の発生率は、景気の動向や社会情勢に大きく影響を受けるが、引続き生活困窮者へ包括的な支援が提供されるよう、関係機関と連携を図りながら、困窮状態からの脱却に努めたい。

プロセス4 夢を実現させる(創る)

【行動計画P. 11~18】

項目	事業名	担当課	(1)令和元年度実施状況				(2)目標指標の状況				
			取組内容	協働の相手		事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値(H27)	目標値(R3)	現状値(R1)	今後の方向性
				①~⑦	団体名						
(1)市事業への「協働」の導入推進	ファミリーサポートセンターの運営	保育課 (R2.4.1以降、子育て支援課)	・利用会員261人、サポート会員97人、両方会員32人 (令和2年3月31日現在) ・サポート活動件数1,551件	②	特定非営利活動法人 子育てほっとねっと	A	サポート活動件数は昨年度より増加し、安定して事業を実施できた。今後、SNS等を活用し、周知をすることで、会員数の増加を図りたい。	活動件数 1,042件	活動件数 1,400件	活動件数 1,551件	計画より早く目標値を達成した。引き続き、周知に力を入れ、活動件数の増加を目標とし、事業を実施する。
	中心市街地活性化事業	商工観光課	【黒磯駅周辺地区中心市街地】 ・黒磯駅前活性化委員会主催イベントへの補助 ・カワツタ家運営委託(令和元年7月19日まで) ・まちなか交流センターの管理運営(7月20日開館) 【西那須野地区中心市街地】 ・株式会社まちづくりにしなすへの補助(まちづくり活動・イベント)	①②④⑤⑦	・黒磯駅前活性化委員会 ・那須塩原市商工会 ・株式会社まちづくりにしなすの	B	地域住民や関係団体と協力し、イベントの開催等、中心市街地活性化に向けた取り組みを実施した。特にイベントについては、多数の人が訪れにぎやかな催しとなった。黒磯駅周辺地区においては、まちなか交流センターの開館により、住民等との協働によるさらなるにぎわい創出が期待できる。	イベント回数 14回	イベント回数 18回	イベント回数 13回	・引き続き、黒磯駅前周辺地区を拠点としたイベントの開催等、ソフト事業を積極的に展開していく。 ・交流センターの運営にあたっては、地域住民や関係団体の連携をこれまで以上に深めていきたい。
	議場コンサート	議事課	【第12回議場コンサート】 開催日：令和元年6月13日(月) 演奏者：松本加奈子氏(シンガーソングライター) コンサート傍聴者：55人 【第13回議場コンサート】 開催日：令和元年11月25日(月) 演奏者：かでんつ(アカペラ混声合唱団) コンサート傍聴者：33人	①	個人	C	議場でコンサートを開催することで、市民の方々が議場へ足を運び、議会を傍聴するきっかけづくりにつながった。コンサート開催の効果として、「初めて議会を傍聴した」との傍聴アンケート回答が増加した。また、那須地区で活動するアーティストの情報発信の場の提供につながった。	傍聴者数 76人	傍聴者数 90人	6月定例会傍聴者数 55人 12月定例会傍聴者数 33人	議場コンサートをきっかけにして幅広い年齢層の方に議会へ足を運んでいただけるよう、SNSや広報なすしおぼら等、様々な方法で議場コンサートの開催を周知するほか、演奏者の選定やポスターデザインを工夫し、引き続き目標値に向けて事業を実施する。
	学校評議員制度	学校教育課	・小学校委嘱人数102人、中学校委嘱人数43人、義務教育学校委嘱人数5人、1校平均5人程度 ・各小中学校における評議員会実施回数1~3回、市教育委員会へ内容報告 ・学校評議員から出た意見等については、学校運営に反映	①	個人	B	学校・家庭・地域の協力関係を高め、地域社会に開かれた学校づくりの推進ができた。	委嘱人数 小学校 123人 中学校 53人	委嘱人数 小学校 130人 中学校 55人	委嘱人数 小学校 102人 中学校43人 義務教育学校 5人	学校の統廃合(平成27年4月・寺子小廃校、平成28年4月・金沢小廃校、平成29年4月・塩原小・中学校が義務教育学校(一貫校)化)により、学校評議員全体の委嘱人数は減少したが、1校当たりの平均委嘱人数5人以上を維持する。
	成人式	生涯学習課	成人式実行委員との共催による成人式の開催 開催日：令和2年1月12日(日) 場所：黒磯文化会館、三島ホール、ハロープラザ 参加者：940人 内容：アトラクション、式典、記念撮影	①⑦	・成人式実行委員 ・黒磯高校吹奏楽部 ・那須野ヶ原疏水太鼓 ・流響塩原太鼓 ・ボーイスカウト那須塩原第1団 ・ガールスカウト栃木県第34団 ・西那須野婦人会	B	当該年度20歳になる者に対し、良識ある社会人の一人として自覚と責任を持って行動し、社会に参画する意識の高揚を図ることができた。	参加率 77%	参加率 80%	参加率 76%	引き続き、目標値に向けて事業を遂行する。
	少年指導員の巡回指導事業	生涯学習課	巡回指導活動等の実施 通常巡回指導回数：267回、延人数：1,008人 特別巡回指導回数：13回、延人数：61人	①⑤⑦	・市内PTA ・市内小中義務教育学校 ・市内高等学校 ・婦人会 ・民生委員児童委員会 ・那須塩原警察署	C	青少年の非行防止及び健全育成のための活動を実施するとともに、啓発活動を推進することができた。	少年指導員数 119人	少年指導員数 135人	少年指導員数 117人	引き続き、目標値に向けて事業を遂行する。
	マイチャレンジ事業	生涯学習課	6月・11月に実施 市内の中学2年生(義務教育学校8年生)を対象 参加生徒数：1,008名	①③④⑤	市内事業所 ・コンビニエンスストア ・介護施設 ・スポーツクラブ等	B	中学生のキャリア教育の一環として市内の事業所に広く周知することができた。	受け入れ先新規数 0件	受け入れ先新規数 25件	受け入れ先新規数 18件	引き続き、目標値に向けて事業を遂行する。
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	国際交流協会への支援	秘書課	国際交流協会事業費の補助	②	那須塩原市国際交流協会	A	市民主体による、在住外国人との交流や日本語教室の運営等が行われた。	事業数 13事業	事業数 13事業	事業数 14事業	協会活動が国際交流と国際理解の発信の場となるよう引き続き支援に努めたい。
	国際交流員を活用した国際交流の推進	秘書課	国際交流事業へ国際交流員を派遣【日唄150周年イベント・団体主催イベントや各種講座(ドイツ語・料理・ものづくり)】	②⑤⑦	オーストリア・フェスタ実行委員会・那須塩原市国際交流協会・その他各種団体	A	市民団体が自ら企画運営する事業に派遣することで、市民主体による国際交流が推進され、国際交流を身近に感じる事ができた。	派遣数 5件	派遣数 8件	派遣数 30件	幅広い世代に派遣を拡大するため、SNSを利用して広く周知に努めたい。

プロセス4 夢を実現させる(創る)

項目	事業名	担当課	(1)令和元年度実施状況				(2)目標指標の状況				
			取組内容	協働の相手		事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値(H27)	目標値(R3)	現状値(R1)	今後の方向性
				①～⑦	団体名						
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	自治会、地区自治会長会及び自治会長連絡協議会への支援	市民協働推進課・(西)総務税務課・(塩)総務税務課	役員会、総会、研修会の実施	⑤	西那須野自治会長連絡協議会 永田自治会ほか29自治会	B	地区内自治会との情報交換、情報共有を図ることができた。	評価の実施 実施	評価の実施 充実	評価の実施 実施	引き続き、目標値に向けて事業を遂行する。
	市民提案型協働のまちづくり支援事業	市民協働推進課	・支援団体数:12団体 ・設定テーマを「自由」「地方創生に資するまちづくり」に加え、「SDGsの推進に寄与するテーマ」についての募集も行った。 ・追加募集を実施した。	②③ ⑤⑦	ジュニア生き物クラブ、大山地区コミュニティ運営委員会、ファミリープラスバンドマムソウ、特定非営利活動法人子育てほっとねっと、特定非営利活動法人ゆめがくどう、そすい通り商店街、家庭教育オビニオンリーダーたん、塩原のかたりべ、埼玉コミュニティ推進協議会、東那須野地区ふれあい推進協議会、feelings、ガールスカウト栃木県第2団	B	市民主体によるまちづくりが促進された。	支援団体数 12団体	支援団体数 15団体	支援団体数 12団体	補助金の交付を受けた団体に対するアンケート結果から得た結果を元に、改善できるところは改善するよう努めたい。
	環境連絡会による施策の実施	環境課	・環境連絡会民生家庭部会との協働により「なすしおばらエコポイント制度」の取組を推進した。 ・地球温暖化対策実行計画【区域施策編】について、実効性のある取組とするため、全体会議を開催した。民生家庭部会に関しては、通知での意見徴収等を行った(新型コロナウイルス感染症対策のため、会議は中止とした)。	①②③④⑤ ⑦	那須塩原市環境連絡会	B	様々なアイデアや市民目線の情報を得ることができた。	排出された温室効果ガス -	排出された温室効果ガス 897tCO ₂	排出された温室効果ガス -	引き続き、目標値に向け市民、事業者、市が協働で事業を遂行する。 ※温室効果ガス排出量の目標値 基準年度2013年度(H25):1,101千tCO ₂ 短期目標2020年度(H32):936千tCO ₂ 中期目標2030年度(H42):815千tCO ₂ 直近の数値は2017年度(H29)で901千tCO ₂
	ホテル観察会	環境課	・ほたる水路保存会との協働によりホテル観察会を実施した。	⑤	ほたる水路保存会	B	ホテル観察会を通して市民の環境保全意識の向上を図ることができた。	支援団体数 1団体	支援団体数 3団体	支援団体数 1団体	事業の方向性も含め、目標値について再検討する必要がある。 ※ホテルに限定しないなど。
	市民一斉美化運動	廃棄物対策課	市民による不法投棄物等の一斉清掃を実施 令和元年5月26日 19,743人 令和元年11月10日 16,316人	①⑤	各自治会、市民	B	多くの市民参加により、快適な環境を整備することができた。	参加率 30%	参加率 35%	参加率 30.7%	広報やホームページなど情報発信を行い、積極的な参加を呼び掛ける。
	不法投棄防止協定	廃棄物対策課	市内のタクシー事業者、郵便局等と不法投棄通報の協定を締結しており、本年度も同協定を引き続き運用した。	④	市内タクシー会社、市内郵便局、東京電力	C	市内の不法投棄事案の早期是正を図ることが出来た。	苦情・相談処理 171件数	苦情・相談処理 140件数	苦情・相談処理 102件数	不法投棄の減少により、通報件数も減少しているため、協定の運用方法を検討する。
	集団資源回収事業	廃棄物対策課	集団資源回収登録団体により資源物の量に応じて交付金を交付(495件)	②⑤	西赤田7班ほか126団体	A	ごみの減量化及び資源化に対する意識の向上が図られた。	登録団体数 117団体	登録団体数 120団体	登録団体数 127団体	適正な交付金額について、検討を要する。
	那須地区レジ袋削減推進協議会との連携	廃棄物対策課	レジ袋削減に関する標語・マイバックコンテストの実施及び各種イベントにおけるレジ袋削減PRの実施	①②④	消費者団体、事業者、商工会、行政の各団体で構成。当市を含め、27団体	A	多くの作品、標語が集まり、レジ袋削減のPRに有効であった。	レジ袋削減コンテスト応募者数 356人	レジ袋削減コンテスト応募者数 380人	レジ袋削減コンテスト応募者数 381人	国や県、周辺自治体の動向を踏まえ、協議会の在り方を検討する。
	那須地域環境対策連絡協議会との連携	廃棄物対策課	同協議会の総会、役員会、勉強会等への出席等(計9回)	⑤	那須地域環境対策連絡協議会	A	同協議会との情報共有、意見交換を図ることができた。	活動の支援 実施	活動の支援 充実	活動の支援 充実	引き続き事業を遂行し、協議会活性化への協力、支援を継続していく。

プロセス4 夢を実現させる(創る)

項目	事業名	担当課	(1)令和元年度実施状況				(2)目標指標の状況				
			取組内容	協働の相手		事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値(H27)	目標値(R3)	現状値(R1)	今後の方向性
				①~⑦	団体名						
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	自主防犯活動支援事業	生活課	市内で自主的に防犯パトロール等を行い、犯罪を未然に防ぐための活動を実践する団体に対し、必要物品の購入費の一部補助を行う。また防犯研修を実施し、防犯意識の向上を図った。	②⑤	豊浦中町学童安全登下校を見守る会ほか3団体 【防犯研修】 自主防犯団体	A	犯罪認知件数については昨年度に引き続き減少しており、目標値を達成した。今後も更なる犯罪認知件数の減少を図るため、自主防犯活動の補助制度の周知強化、防犯研修の継続的な実施、ながら見守りの周知強化により防犯意識向上を図り、市民による自主防犯活動をサポートする。	1,052件	900件	656件	すでに目標値を達成したが、登下校中の児童の見守り空白地帯の解消などが必要である。本事業を継続し犯罪認知件数の減少を図りたい。
	人権擁護委員協議会への支援	社会福祉課	人権の花運動の実施、人権擁護委員協議会への補助金の交付、人権相談の実施	①②⑦	市民、人権擁護委員、法務省大田原支局、市内小学校	B	予定どおりに事業を実施することができた。	補助金の交付 実施	補助金の交付 充実	補助金の交付 実施	人権擁護については、国が主体となり、各種啓発活動や事業を行っている。今後も協力体制の充実に努めたい。
	地域自立支援協議会との連携	社会福祉課	・協議会の開催(2回) ・相談支援部会(12回)※人材育成グループ6回含む ・事業所部会(5回) ※就労グループ2回、子どもグループ2回を含む ・当事者部会(5回)	②③④ ⑤⑥⑦	那須塩原市地域自立支援協議会	B	多様な機関・団体からの参加を得て、障害者福祉の推進が図られている。	全体会・専門部会の開催 20回	全体会・専門部会の開催 25回	全体会・専門部会の開催 24回	・H28年度に相談支援部会内に人材育成グループを、H29年度に事業所部会内に子どもグループを設置し、専門分野ごとの課題について協議する体制を整備した。 ・今後も各専門部及び各グループ活動の内容を見直しながら、障害福祉の現状にあった活動の実施をしていく。
	精神障害者福祉啓発事業	社会福祉課	講演会等の開催:令和2年1月26日(土) 那須フロンティアフォーラム 障害の枠を超えて～働くことについて考える～ アニメーション映画上映「若おかみは小学生！」 参加者:345名	②③	特定非営利活動法人那須フロンティア	A	映画上映や講演、意見交換を通じ、市民が障害の枠を超えて地域で暮らすこと、働くことなどについて考え、理解する機会となった。	啓発事業開催回数 1回	啓発事業開催回数 1回	啓発事業開催回数 1回	障害のある人もない人も参加しやすいフォーラムとなるよう、内容や環境づくりについて引き続き検討していく。
	敬老会事業	高齢福祉課	自治会等が主体となり、敬老事業を実施。開催箇所は、128箇所、招待者は9,141人。(対象者は年度内に79歳以上になる人)	①③⑤	地域住民 介護サービス施設 自治会等	C	敬老事業の経費を補助することにより、地域住民の高齢者に対する敬老意識を高めることができた。	敬老会主催団体 128団体	敬老会主催団体 130団体	敬老会主催団体 128団体	高齢者を敬い長寿を祝うと共に、若い世代への敬老意識の浸透を図るために、引き続き事業に取り組んでいく。
	街中サロン推進事業	高齢福祉課	本事業を行うNPO法人に対し、運営費を補助することにより、高齢者の能力を活用した自主事業の開催や、地域住民と連携した地域の特性を活かした高齢者の居場所づくりに取り組んだ。	①②⑤	地域住民 ボランティア団体 NPO法人キャリアコーチ 地域コミュニティー	C	地域の高齢者がお互い助け合い、支えあう場であるとともに、地域住民との交流を図る場となった。	支援団体数 2団体	支援団体数 3団体	支援団体数 1団体	一部利用者の固定化により、補助事業として公平性が保てなくなってきたため、令和元年度末をもって閉鎖。
	生きがいサロン推進事業	高齢福祉課	自治会や老人クラブ等地域の拠点となる団体に対し、運営費補助金と運営支援を実施した。令和元年度の実施団体は61団体。参加延べ人数は3万人以上。	①②④⑤	地域住民 ボランティア団体 企業等 自治会等の地域団体	B	サロンの運営や活動を支援することにより、高齢者をはじめとする地域住民の自治について、参加意識を高めることができた。	支援団体数 51団体	支援団体数 63団体	支援団体数 61団体	順調に開催箇所が増加し、高齢者の閉じこもり防止及び孤立防止に効果があった。高齢者の居場所づくりのさらなる充実のため、支援を継続していく。
	介護支援ボランティアポイント事業	高齢福祉課	高齢者の社会参加・介護予防の推進を目的として、高齢者が介護保険サービス施設や事業所で行うボランティア活動を支援した。 現在活動登録しているボランティアは147人。	①②③	個人ボランティア ボランティア団体 市内介護保険サービス施設等	C	元気な高齢者が積極的なボランティア活動を行うことにより、社会参加の促進や自身の健康増進、介護予防に繋げることができた。	ボランティア登録数 77人	ボランティア登録数 250人	ボランティア登録数 147人	引き続き目標値に向けて事業を進める。
	地域づくり型介護予防事業	高齢福祉課	46箇所の「住民主体の介護予防のための通いの場」にリハビリ専門職等を派遣し、いきいき百歳体操定着のための活動を支援	①②③ ④⑤⑦	地域住民 介護予防サポーター 自治会長・民生委員 自治会・老人クラブ 市内介護保険事業所 社会福祉協議会 リハビリ3士会	A	実施地区が増加しており、介護予防と交流の場づくりに効果が得られた。参加者の体力測定の結果から、身体機能の維持向上に効果が見られている。	介護予防の通いの場 0箇所	介護予防の通いの場 40箇所	介護予防の通いの場 46箇所	引き続き、実施地区拡大に向けて、いきいき百歳体操の周知及び活動支援をしていく。
	窓口用封筒の作成	市民課	・封筒提供事業者を公募し実施 ・広報、ホームページにより事業者を募集	④	株式会社 郵宣協会 東日本支社	B	ゼロ予算で封筒を市民に提供でき、市をPRすることができた。	継続的な作成 実施	継続的な作成 充実	継続的な作成 実施	引き続き官民協働による封筒作成を遂行していきたい。

プロセス4 夢を実現させる(創る)

項目	事業名	担当課	(1)令和元年度実施状況				(2)目標指標の状況				
			取組内容	協働の相手		事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値(H27)	目標値(R3)	現状値(R1)	今後の方向性
				①~⑦	団体名						
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	林道交通安全対策事業	農林整備課	林道愛護会3団体に対して林道の保守活動(路肩の草刈及び側溝清掃)に要する経費の一部補助を行った。	②	百村本田林道愛護会 巻川林道愛護会 木綿畑林道愛護会	C	林道の交通安全につながった。	支援団体数 3団体	支援団体数 5団体	支援団体数 3団体	引き続き、目標値に向けて事業を遂行する。
	那須野巻狩まつり	商工観光課	「那須野巻狩まつり実行委員会」を官民協働で組織し、市と市民・民間団体との一体的な推進体制でまつりを開催した。今年度は学生・一般ボランティアの受入や、地域の公民館・自治会と連携し、子ども神輿を実施した。 令和元年10月26日(土)大将鍋出陣式 来場者数7,000人 令和元年10月27日(日)本まつり 来場者数73,000人	①②③④⑤⑦	那須野巻狩まつり実行委員会	B	まつり当日は学生ボランティア61名(申込は63名)、一般ボランティア2名(申込は3名)の協力を得て、連携しながら運営を行うことができた。	民間協力員の割合 49% 142人	民間協力員の割合 60% 173人	民間協力員の割合 54% 179人	今後も地元の学校等との連携をさらに深め、若い世代の郷土愛や「協働」の機運醸成を図りたい。また、まつり実行委員会における民間協力員の割合を増やし、官民一体となった持続可能なまつり運営体制の確立を目指していく。
	市民参加型違反広告物除却推進事業	都市計画課	市民参加による地域での違反広告物の除却活動(3団体において実施)	②	げんごろうの会 あじさいグループ 少年指導員	B	除却すべき違反広告物の数が減少している。	巡回の実施 実施	巡回の実施 充実	巡回の実施 継続	引き続き、目標値の達成に向けて事業を遂行する。
	道路愛護事業	道路課	「道路ふれあい月間」や「道路愛護月間」等における道路清掃、道路沿いの草刈や枝切り(参加者:207団体、61,554名)	⑤	那須塩原市道路愛護会	B	自主的な道路環境の整備及び美化活動が住みよい地域社会づくりに貢献している。	作業参加団体数 210団体	作業参加団体数 210団体	作業参加団体数 207団体	今後も継続して道路環境の美化に努めたい。
	河川愛護事業	道路課	各地区の愛護会が美化活動を実施(参加者:24団体、1,100名)	⑤	那須塩原市河川愛護会	A	自主的な愛護活動が河川環境の美化に貢献している。	河川愛護会数 36団体	河川愛護会数 36団体	河川愛護会数 36団体	今後も継続して河川環境の美化に努めたい。
	開こん記念祭	(西)総務税務課	市や関係機関、各種団体等で実行委員会を組織し、市内小学生のイベント参加や婦人会の開拓なべなどを振舞う屋台コーナー等を展覧して、官民一体となった記念祭を開催。 開催日:平成31年4月15日(月) 場 所:烏ヶ森公園 参加者:2,250人 内 容:式典、子ども疏水太鼓、小学生対象イベント、2色まんじゅう配布、福祉施設紹介・作品展示即売、日本遺産コーナー、緑の苗木配布会、ふるさとの味屋台コーナー	①②③⑤⑦	西那須野地区婦人会 市内小学校6年生 開こん記念祭実行委員会 ほか	A	開拓の歴史を通じ、郷土の一体感の醸成を図ることができた。	参加者数 2,000人	参加者数 2,000人	参加者数 2,250人	参加者駐車場の一部が道路工事の影響により減少するため、記念祭の内容及び目標値について再検討する必要がある。
	西那須野ふれあいまつり	(西)産業観光建設課	開催日:令和元年7月28日(日) 場 所:西那須野駅前公園通り・駅前通り・桜通り・要町通り・そすいスクエアAQUAS前市営駐車場 入出数:46,000人 イベント:流し踊り・仮装大会・そすいレース・自主イベント等を開催	①②③④⑤	流し踊り実行委員 仮装大会実行委員会 そすいレース実行委員会 自主イベント実行委員会 市内商店会・商工会等	B	2年連続台風で順延となったが、地域の商店会や各イベント実行委員会の協力により、住民のふれあいの場を創り、郷土愛を深め、青少年の健全育成と住民の連帯感の醸成を図る事ができた。	参加団体数 134団体	参加団体数 150団体	参加団体数 109団体	台風で順延となり、参加できない団体がありながらも、46,000人の人出があった。今後も官民協働の面で協力を図ってきたい。
	無形民俗文化財保護事業	生涯学習課	指定無形民俗文化財保存会15団体のうち、13団体に各27,000円、未指定の保存会14団体に各18,000円及び1団体に81,000円、1団体に210,000円の補助金を交付。	②⑤	指定無形民俗文化財保存団体	A	保存団体に対し補助金を交付することで、主体的な活動の一助となっている。	保存団体数 15団体	保存団体数 15団体	保存団体数 15団体	引き続き、目標値を維持できるよう事業を遂行する。
	創作劇「那須野の大地」	生涯学習課	開拓の歴史を後世に伝えることを目的とし、旧西那須野町が制作した創作劇を公演。	①⑤⑦	劇団なすの	B	開拓の歴史を地域住民が主体となっている市民劇団が演じることで、市民の歴史への興味関心につながった。	観覧者数 833人	観覧者数 1,200人	観覧者数 783人	引き続き、目標値に向けて事業を遂行する。

プロセス4 夢を実現させる(創る)

項目	事業名	担当課	(1)令和元年度実施状況				(2)目標指標の状況				
			取組内容	協働の相手		事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値(H27)	目標値(R3)	現状値(R1)	今後の方向性
				①~⑦	団体名						
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	市民オペラ活動支援事業	生涯学習課	くろいそオペラをつくる会による中学校オペラ鑑賞教室を開催。	①⑤⑦	くろいそオペラをつくる会	D	中学生オペラ鑑賞教室のみ開催し、一般公演は未実施で観覧者数の比較ができないため。なお、中学生オペラ鑑賞教室の観覧者数は1,089人。	観覧者数 750人	観覧者数 900人	観覧者数 0人 (目標値は一般公開に対するものであるため、令和元年度は評価不能。)	中学生オペラ鑑賞教室は当初の目的を達成したため、令和元年度で終了する。今後は一般公演のみの開催となるため、黒磯文化会館との協働により引き続き目標値に向けて事業を遂行する。
	文化協会への支援	生涯学習課	那須塩原市を活動拠点とする文化・芸術団体が加入し、会員相互の親睦、交流を図るとともに、地域文化振興を目的とした芸術祭、文化振興事業を実施。本会事業として、春の舞台まつり、子ども向けの芸術・文化一日体験事業を開催したほか、3支部にて芸術祭等の事業を実施。	①⑤	那須塩原市文化協会	B	高齢化等による会員数の減少が見られたが、新たに子ども向けの体験事業を実施するなど、協会が主体的に事業を実施することができた。	会員数 1,194人	会員数 1,400人	会員数 1,024人	子ども向け事業の継続など、長期的な会員数の維持を図り、引き続き、目標値に向けて事業を遂行する。
	なすしおばら童謡フェスタ	生涯学習課				E	実行委員会解散のため。	観覧者数 450人	観覧者数 500人		
	西那須野産業文化祭	生涯学習課	第65回那須塩原市西那須野産業文化祭の開催 メイン開催日:令和元年10月19日(土)、20日(日) 開催場所:にしなすの運動公園、健康長寿センターほか	①②③④⑤⑥⑦	那須塩原市商工会	A	多くの来場者に来ていただいた。出展者も増えており、地域のイベントとして定着している。	来場者数 35,000人	来場者数 38,000人	来場者数 38,000人	引き続き、目標値を維持できるよう事業を遂行する。
	学社連携・融合事業	公民館	学校・地域が連携・協働しながら事業を実施しており、地域学校協働本部が設置された6地区(令和元年度設置は、3地区)においては、本部事業として実施された。	①②⑤	小中学校 個人ボランティア 地域コミュニティ	B	目標値には達していないが、地域学校協働本部の設置及び事業の実施については、計画どおり進んでおり、参加者数も目標値に着実に近づいている。	参加者数 24,000人	参加者数 26,000人	参加者数 23,071人	今後も、学校・地域・家庭が連携・協働しながら事業を実施する一方で、地域学校協働本部が設置された地域では、本部事業の一環として内容の充実を図りながら取り組んでいく。
	子供会育成会支援事業	公民館	子供会育成会が実施する事業の事務的支援を行った。	⑤	各地区子供会育成会	C	単子子供会育成会の連絡調整を行い、事業実施への支援をすることができた。	評価の実施 実施	評価の実施 充実	評価の実施 実施	子供の減少により、単子子供会育成会では事業を行うことが困難になってきている会もあるが、引き続き活動への支援をすることにより、子供会育成会事業の充実を目指す。
	公民館まつり	公民館	公民館利用団体や講座受講者の学習成果の発表の機会を提供した。また、地域住民と協働して事業を実施することにより、住民同士の交流の推進を図った。	①②⑤	公民館利用団体 個人ボランティア 地域コミュニティ	B	公民館利用団体等の学習成果の発表の場を提供することにより、利用団体間の交流を促すことができた。また、地域のお祭として、地域住民の交流の場を提供することができた。令和元年度は、2館が台風で中止	参加者数 20,000人	参加者数 22,000人	参加者数 18,169人	公民館利用者と地域住民の交流の場として、実施内容の充実を図っていく。また、公民館事業を紹介する機会でもあるため、新規利用につながるPRを検討する。
	那須塩原ハーフマラソン	スポーツ振興課	大会実行委員会の運営を支援し、くろいそ運動場周辺にて大会を開催	①②③④⑤⑥	那須塩原ハーフマラソン実行委員会	C	生涯スポーツの振興を図る効果があった。近隣自治体で同様のマラソン大会が行われており、くろいそ運動場周辺の開発が進んでいることもあり、ターゲットを絞る実施方法の変更等を検討する必要がある。	エントリー数 2,892組	エントリー数 2,900組	エントリー数 1,791組	地元企業をはじめ、市民ボランティアとも協力して大会を開催しているため、今後も継続して協力してもらえるよう働きかけ、大会会場周辺の市民へも大会に参加してもらえるよう促していく。
	体育協会への支援	スポーツ振興課	生涯スポーツの振興、各種市民大会・教室等の開催支援、加盟団体相互の連携融和	①⑤⑦	那須塩原市体育協会	C	市民対象に大会や教室を開催し、生涯スポーツの普及に貢献している。継続的なスポーツ活動を通じて、子供たちの心身の成長や仲間づくりに寄与している。	評価の実施 未実施	評価の実施 実施	評価の実施 実施	大規模イベントへの協力員養成やボランティア案内を積極的に行い、各専門部を通してイベント参加者や市民にスポーツへのかかわりを持ってもらえるよう働きかけていく。
	スポーツ少年団本部への支援	スポーツ振興課	リーダー研修会・指導者講習会の開催及び交流大会の開催支援	①⑤⑦	那須塩原市スポーツ少年団本部	E	平成29年度から体育協会への支援事業に統合された。	評価の実施 未実施	評価の実施 実施	体育協会への支援 と統合	体育協会への支援事業に統合し、スポーツ少年団本部内で各種イベントの企画運営ができるよう支援していく。

プロセス4 夢を実現させる(創る)

項目	事業名	担当課	(1)令和元年度実施状況				(2)目標指標の状況				
			取組内容	協働の相手		事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値 (H27)	目標値 (R3)	現状値 (R1)	今後の方向性
				①~⑦	団体名						
(3)「協働のまちづくり」推進体制の確立	協働のまちづくり推進協議会への支援	市民協働推進課	・市民活動センターが平成30年4月に開設したことに伴い平成31年3月に解散。	—	—	E	協働のまちづくり推進協議会解散のため。	会員数 25人	会員数 28人	会員数 0人	協働のまちづくり推進協議会は平成31年3月に解散し、令和元年6月に設置した市民活動センター利用者協議会と連携して事業を実施していく。